

# 伊丹ルーテル教会 復活節第五主日礼拝

## 2020年5月10日

父と、御子と、聖霊の御名により、**アーメン**。

前奏：いと高き神に栄えあれ

### 招きのことば：詩編 31 編より

主よ、御もとに身を寄せます。恵みの御業によってわたしを助けてください。

あなたの耳をわたしに傾け 急いでわたしを救い出してください。

あなたはわたしの岩。まことの神、主よ、御手にわたしの霊をゆだねます。

わたしを贖ってください。

主よ、わたしはなお、あなたに信頼し「あなたこそわたしの神」と申します。

わたしにふさわしいときに、御手をもって 追い迫る者、敵の手から助け出してください。

### 罪の悔い改めと赦しのことば

**会衆**：私たちは生まれつき、自分中心、わがままで、心の中に本当の愛のかけらもありません。

思いとことばと行いで、まことの神を軽んじて、となりびとにも愛のない、神の御前に罪人です。神様、ほんとうにごめんなさい。

私たちは祈ります。私たちを救うため あなたがお与えくださった イエス・キリストによって、どうかあわれんでください。アーメン。 (短い黙祷を持ちましょう)

牧師：何でもおできになる神様は、あなたのすべての罪を赦すために、そのひとり子、イエス・キリストを十字架の上で死に渡してくださいました。

ですから神様の御言葉をとりつぐ務めに任じられた牧師として、今、あなたがたに宣言します。父と、御子と、聖霊のお名前によって、あなたの罪は赦されました。安心して行きなさい。**アーメン**。

### 使徒信条

**われは、天地のつくり主、父なる全能の神を信ず。**

**われは、そのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。**

主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死して葬られ、

陰府(よみ)にくだり、三日目によみがえり、天にのぼり、

父なる全能の神の右に座したまえり。

生ける人と死にたる人とを審かんがため、かしこより再びきたりたまわん。

**我は聖霊を信ず**、また、聖なるキリスト教会、すなわち聖徒の交わり、罪のゆるし、

からだのよみがえり、かぎりなきいのちを信ず。 **アーメン**。

## 祈り

愛とあわれみに満ちておられる私たちの父なる神様、

あなたはイエス/キリストを私たちのために救い主としておつかわしく下さいました。イエス様によって私たちの罪を赦し、新しいいのちにみなぎることができますことを感謝いたします。今朝も復活の主を信じる信仰で満たしてください。

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、まだ不安な日々が続きます。私たちを助けてください。病気の治療にあたってくださっている方々、生活の必要なものをみんなのために整えて日夜働いてくださっている方々の疲れを癒やし、お支えください。私たちにも平安を与えて、これからの歩みを導いてください。

今週もビデオやプリントによって、私たちは別々のところで同じ礼拝にあずかります。この礼拝ができるようにかげにあって力になってくださった方々を祝福してください。私たちは復活の主イエス様のみ言葉を聴きます。どうぞお語りください。

この祈りを私たちの救い主であり主であるイエス・キリストのお名前によってお祈りいたします。  
**アーメン。**

## 使徒書朗読：第1ペテロ 2:2-10

生まれたばかりの乳飲み子のように、混じりけのない霊の乳を慕い求めなさい。これを飲んで成長し、救われるようになるためです。

あなたがたは、主が恵み深い方だということを知りました。この主のもとに来なさい。主は、人々からは見捨てられたのですが、神にとっては選ばれた、尊い、生きた石なのです。

あなたがた自身も生きた石として用いられ、霊的な家に造り上げられるようにしなさい。そして聖なる祭司となって神に喜ばれる霊的ないけにえを、イエス・キリストを通して献げなさい。聖書にこう書いてあるからです。「見よ、わたしは、選ばれた尊いかなめ石を、シオンに置く。これを信じる者は、決して失望することはない。」

従って、この石は、信じているあなたがたには掛けがえのないものですが、信じていない者たちにとっては、「家を建てる者の捨てた石、これが隅の親石となった」のであり、また、「つまずきの石、妨げの岩」なのです。彼らは御言葉を信じないのでつまずきののですが、実は、そうなるように以前から定められているのです。

しかし、あなたがたは、選ばれた民、王の系統を引く祭司、聖なる国民、神のものとなった民です。それは、あなたがたを暗闇の中から驚くべき光の中へと招き入れてくださった方の力ある業を、あなたがたが広く伝えるためなのです。あなたがたは、「かつては神の民ではなかったが、今は神の民であり、憐れみを受けなかったが、今は憐れみを受けている」のです。

## 福音書朗読：ヨハネ 14:1-14

「心を騒がせるな。神を信じなさい。そして、わたしをも信じなさい。わたしの父の家には住む所がたくさんある。もしなければ、あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろうか。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻って来て、あなたがたをわたしのもとに迎える。」

こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる。わたしがどこへ行くのか、その道をあなたがたは知っている。」

トマスが言った。「主よ、どこへ行かれるのか、わたしたちには分かりません。どうして、その道を知ることができるのでしょうか。」イエスは言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。あなたがたがわたしを知っているなら、わたしの父をも知ることになる。今から、あなたがたは父を知る。いや、既に父を見ている。」

フィリポが「主よ、わたしたちに御父をお示してください。そうすれば満足できます」と言うと、イエスは言われた。「フィリポ、こんなに長い間一緒にいるのに、わたしが分かっていないのか。わたしを見た者は、父を見たのだ。なぜ、『わたしたちに御父をお示してください』と言うのか。わたしが父の内におり、父がわたしの内におられることを、信じないのか。わたしがあなたがたに言う言葉は、自分から話しているのではない。わたしの内におられる父が、その業を行っておられるのである。わたしが父の内におり、父がわたしの内におられると、わたしが言うのを信じなさい。もしそれを信じないなら、業そのものによって信じなさい。

はっきり言っておく。わたしを信じる者は、わたしが行う業を行い、また、もっと大きな業を行うようになる。わたしが父のもとへ行くからである。わたしの名によって願うことは、何でもかなえてあげよう。こうして、父は子によって栄光をお受けになる。わたしの名によってわたしに何かを願うならば、わたしがかなえてあげよう。」

### **説教「わたしは道であり、真理であり、命である」**

私たちの父なる神様と御子イエス・キリストから、恵みと平安が豊かにありますように祈りつつ、み言葉をとりつぎます。

動画やプリントであずかる主日の礼拝が続きます。今朝もよみがえられたイエス様のお言葉を共に聞きましょう。復活の主をおぼえるご挨拶をしましょう。

「ハレルヤ、イエス・キリストはよみがえられました」と言いますから、皆さんは「ハレルヤ、イエス・キリストはたしかによみがえられました」とおっしゃってください。

**牧師**：ハレルヤ、イエス・キリストは、よみがえられました！

**会衆**：ハレルヤ、イエス・キリストは、たしかに、よみがえられました！

あなたは神様がどんなお方だと思っていますか。イエス様が最後の晩餐を終えて、ゲッセマネの園へ行かれる前に弟子たちとお話しをしました。そのときピリポが「父なる神様を見せてください、そうすれば信じることができます」とイエス様に言いました。神様を見せていただけたら、あるいは、見る、ということばがお目にかかるという意味も含んでいるように、神様に実際にお目にかかることができたなら、私は迷うことなく信じることができます、と思ったのでしょうか。

イエス様は「わたしを見た者は父を見たのだ」と言われました。イエス様を見ると、ほんとうの神様がわかる、ということをおっしゃったのです。

父なる神様がイエス様を私たちのために送ってくださいました。そしてこれからイエス様はいよいよ、私たちの罪を赦すために十字架にかかってくださいます。そのあとでよみがえって私たちに新しい命をあたえてくださるのです。これは、イエス様の生涯の最後のたいせつな出来事のおこる直前の会話でした。

イエス様を知る前の私たちは、神様を漠然と考えていましたね。代表的な神様のイメージが三つ思い浮かびます。

ひとつは遠い方です。神様はすべてをつくったという偉大な方だろうけれど、私たちと何の関係があるのかよくわからない遠い存在のように感じます。

また、無力な方というイメージもあります。私たちが困っているとき熱く「神様！助けてください！」と呼んでいるのに、黙っておられる方、私たちには無関心で、心動かされることのない無感情、何も助けてくれない無気力な方で、ときどききまぐれで助けてくれることもあるような方、というイメージもありますね。

ちょっとそれらとは違いますが、単純な方というイメージもあると思います。私たちが神様のよろこびそうなことをしたり、神様のことをほめたたえたりすると、神様はそれにのせられて単純に私たちのいいなりになってくださるというイメージです。

イエス様を知る前に持っていた神様のイメージは、ほかにもあると思います。ちょっと厳しい先生みたいなイメージをもっている人もいるでしょう。私たちが自分の心を改めて、本来あるべき姿に近づいたら、よくやった、そうなるのを待っていたぞ、と私を認め、特別な力を与えて立ち上がらせてくださるようなお方、そんなイメージです。

イエス様が十字架につけられる前、お弟子たちはイエス様が苦しみから救い出してください力強い救い主と期待していました。でも、これから辱めをうけて死なれる、ということを知って驚いていました。心が揺れ動きました。心が騒ぎました。

ピリポの質問の前にはトマスがイエス様に、あなたが私たちを一旦離れていかれるとおっしゃるのですか、あなたがどこに行かれるのか分かりません、と尋ねました。その前にはペテロも同じような質問をしています。みんながこれからイエス様はどうなってしまうのかと、予想がつかないために動揺していました。

イエス様は、わたしはあなたがたの知らない道に行ってしまうのではなくて、わたしがあなたがたの道なのです、真理なのです、いのちなのです、と言われました。父なる神様があなたにほんとうのいのちを与えるために、わたしを世につかわしてくださいました、それは真理です、とおっしゃいました。

イエス様はそのあと、ゲッセマネの園で捕らえられ、辱めを受け、十字架につけられます。そこでイエス様は「父よ、どうしてわたしをお見捨てになったのですか」と叫ばれます。そのような道を歩まれるのです。そして死んで葬られます。

しかし、その道は私たちの罪を赦すための身代わりの裁きでした。神様が遠くにおられるのではなく神様から遠く離れている私たち、神様が無力なのではなく神様なしには無力な私たち、喜ばせてなら単純にご褒美をくれるような方を神様と思うような自分中心でずるがしこい私たち、神様は自分がよい人間になるように努力する人を助けてくれるといいつながら、自己満足や高慢に陥りやすい私たち、そのように自分の罪深さのためにまことの神様に近づくこともできない私たちに、神様の方から来てくださり、イエス様を救い主として送ってくださって、イエス様の受けられた苦しみによって私たちが赦されて、神様の子どもになるようにと道を開いてくださいました。

イエス様が私の代わりに神様から見捨てられて死んでくださったので、イエス様によってもう私は神様から見捨てられたり見放されたりしないことが確かに分かりました。また、イエス様が私たちのためによみがえってくださった新しい命に、私たちもあずかることができるようにしてくださって、やがて新しい天の住まいに導いてくださるという約束まで与えてくださいました。

神様がお送りくださったイエス様を見た人は、神様の私たちへの思いを知ることができます。イエス様が道です、イエス様が真理です、イエス様がいのちなのです。

イエス様は動揺する弟子たちに、「心を騒がせるな、神を信じなさい、またわたしをも信じなさい」と言われました。心は騒ぎます。何かあると私たちは右往左往します。それが普通です。何があっても何とも感じないようにはなれません。でもそのときに、イエス様のことばを思い起こします。「心をさわがせるな、神を信じなさい、わたしをも信じなさい」とイエス様がおっしゃってくださったからです。イエス様が父なる神様からつかわされて、わたしのために十字架で死んで、そして三日目によみがえられたのですから、心を騒がせなくてもよい！と安心できるのです。

イエス様はまたあなたの方のために場所を備えに行く、と言われました。あなたは最後の敵である死の恐れからもイエス様によって解放されます。用意ができたならあなたをわたしのもとに迎える、と言われるからです。よみがえって弟子たちにあらわれ、世の終わりに迎えてくださいます。

用意をしてくださっている間に、私たちはイエス様にあって新しいいのちの歩みを始めます。電源が外れた洗濯機や冷蔵庫、テレビは何のためにそこにあるか分かりません。でも電源が入ると人の役に立ちます。あなたも神様のいのちに結ばれて力をいただき、自分を磨いて神様と人々に喜んで役に立つ生きがいのある毎日をいのちあふれて歩みます。苦しみの中にいる方々を思い、助けになって歩みましょう。共に歩めることを喜び、励まし合って歩みましょう。

人知をはるかに超えた神様の平安が、あなたの心と思いをまもってくださいます。アーメン。

**牧師**：ハレルヤ、イエス・キリストは、よみがえられました！

**会衆**：ハレルヤ、イエス・キリストは、たしかに、よみがえられました！

### **讚美歌 502 番**

1. いともかしこし イエスの恵み、罪に死にたる 身をも活かす。  
主よりたまわる あめの糧に 飢えしこころも 飽き足らいぬ。  
＜繰り返し＞ **世にあるかぎり、きみのさかえと、いつくしみとを かたりつたえん。**
2. すくいのみぐみ 告ぐるわれは たのしみあふれ うたとぞなる。  
ほろびをいでし このよろこび、あまねくひとに えさせまほし。＜繰り返し＞
3. くすしきめぐみ あまねく満ち、あるに甲斐なき われをも召し、  
あまつ世継ぎと なしたまえば、たれか洩るべき 主のすくいに。＜繰り返し＞ **アーメン。**

### **主の祈り**

天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあげさせたまえ。みくにを来たらせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなせたまえ。われらの日用のかてを今日も与えたまえ。われらに罪をおかす者をわれらが赦すごとく、われらの罪をもゆるしたまえ。われらを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。アーメン。

### **頌栄の讚美歌 541 番**

父、御子、みたまの大御神に、ときわにたえせず み栄えあれ、み栄えあれ。アーメン。

### **祝福のことば**

仰ぎ来い願わくは、私たちの主、イエス・キリストの恵み、父なる神の愛、聖霊の親しきお交わりが、それぞれのところで共に礼拝にあずかっておられる一同とともに、今日も、この一週間も、いく久しくとこしえまでも、ゆたかにありますように。 **アーメン。**